

急性期病院における多職種で構成する 認知症ケアサポートチーム（DST）の活動報告

湊 静佳 中田郁子

大阪府済生会中津病院 看護部

抄録

A病院の認知症ケアサポートチーム（以下、DST）が介入した患者の属性、活動内容を振り返り返った。2023年4月1日～2024年3月31日の間に入院した患者のうち、認知症高齢者の日常生活自立度ランクⅢ以上の患者は792名（90%）だった。DSTによる職種ごとの活動内容を分析した結果、認知症ケア加算1の算定要件以外で配置されている職種のうち、薬剤師の介入が最も多く重要であることが示唆された。

Key word：急性期病院 認知症ケアサポートチーム 活動報告

背景・目的

A病院は2016年認知症ケア加算1が新設されたと同時に認知症ケアサポートチーム（以下、DST）の活動を開始した。現在は老年内科医師、精神科医師、精神科認定看護師、認知症看護認定看護師、医療ソーシャルワーカー、栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚療法士、薬剤師4名、医事課2名の15名で活動している。DSTが介入した患者の属性、活動内容を振り返り多職種介入の役割を考察する。

方 法

DSTの登録は、65歳以上の入院患者に対して、高齢者総合的機能評価簡易版（CGA7）を実施することによって行う。CGA7の7項目の質問のうち1項目でも問題があった場合は、日常生活の障害や認知症による行動・心理症状を入力することによって、認知症高齢者の日常生活自立度ランクが自動判定されるシステムを使用している。今回は2023年4月1日～2024年3月31日の間に入院した患者のうち、電子カルテ上のDSTに依頼のあった認知症高齢者を対象とした。DST活動内容の分析は介入後入力した内容を使用した。

倫理的配慮

本活動報告はA病院の看護部倫理審査委員会の承認を得た。

結 果

2023年度の延べ入院患者数は12910名であった。65歳以上の患者は8010名（62%）であり、そのうちDSTの依頼件数は884件（11%）だった。DSTの登録のうち認知症の診断ありは363名（41%）、認知症ケア加算1の対象となる認知症高齢者の日常生活自立度ランクⅢ以上の患者は792名（90%）だった。DSTへの依頼は入院当日が597名（68%）、DSTの依頼から介入までの日数は平均2日だった。（図1）DSTの看護師が毎週金曜日のラウンド日までに、新規登録の全ての患者に対して病棟看護師との情報交換の後に患者とコミュニケーションをとり、具体的な認知機能低下・せん妄予防対策について病棟看護師と検討を行った。DSTの介入内容は、せん妄ハイリスク薬の中止、減量の提案、睡眠薬の相談が700件（90%）だった。食事摂取量の低下による相談や口腔・嚥下状態に合わせた食事の変更は509件（58%）であった。入院までのADL状況の把握やリハビリ依頼の提案は368件（43%）であった。（図2）

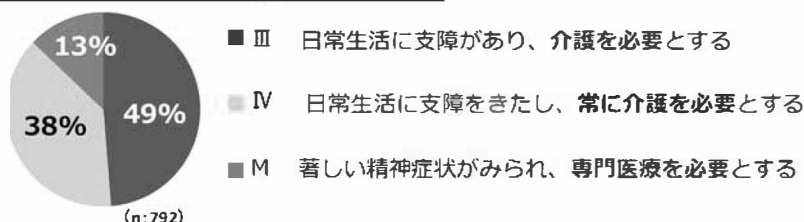
考 察

入院早期からの多職種による身体機能や栄養状態などの多角的アセスメントは有効とされているが、A病院においては早期に介入できていると考える。

阿部¹⁾らの基礎調査によると、認知症ケア加算1の算定要件以外で配置されている職種のうち最も多かつ

- ・ 2023年度のべ入院患者数：12910名 うち65歳以上の患者：8010名（62%）
- ・ 日常生活自立度Ⅲ以上の認知症患者：792名

日常生活自立度Ⅲ以上の認知症患者内訳



- ・ DSTへの依頼から介入までの日数：平均2日

図1 対象者の概要

加算要件	職種	介入内容	介入件数
あり	医師	病態から見通せる全体的なアセスメント	全てに介入
	看護師	行動心理症状・せん妄の悪化予防ケア等	
	医療ソーシャルワーカー	退院支援	
なし	薬剤師	せん妄ハイリスク薬の中止、減量の提案等	700件
	栄養士	食事の変更、相談等	509件
	理学・作業療法士	入院までのADL把握、リハビリの提案等	368件
	言語聴覚療法士	嚥下状態に合わせた食事の提案等	149件
	医事課	月ごとに加算件数の報告	

図2 認知症ケア加算1の加算要件以外で配置されている職種と介入内容

たのは、薬剤師（61.8%）であった。A病院において認知症ケア加算1の算定要件以外で配置されている職種のうち、薬剤師の介入が最も多く重要であると示唆された。

結 論

- ・ DST介入までに平均2日であり、入院後、早期の段階で活動している。
- ・ A病院のDSTは認知症ケア加算1の算定要件以外の多職種がメンバーとなっており、中でも薬剤師の介入件数が多く、重要であることが示唆された。
- ・ 今後、より多くの職種で構成されるDST活動の有効性について検証し、さらに有益な活動につなげていく。

引用文献

- 1) 阿部慈美, 松岡千代, 内園真佐司他: 急性期病院における認知症ケアチーム (DCN) の現状—認知症高齢者のHAD予防プロトコル作成に向けた基礎調査—, 佛教大学保健医療技術学部論集, 第16号: 33, 2022年.